



No.1 Noodle Restaurant Company

証券コード:9900

うどん

りん

第45期 報告書 | 2014年4月1日~2015年3月31日



■ 株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。第45期決算のご報告にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年度は、政府の経済対策や日銀の金融政策による景気の下支え効果もあり、円安、株高が進み、感覚的には景気回復を感じられるようになりました。その一方、国内消費は消費税の引き上げや円安による輸入材料価格の上昇などに伴って実質賃金が23ヶ月連続で減少するなど、厳しい状況が続きました。

このような環境ではありましたが、当社グループは昨年度から仲間に加わった味の民芸フードサービス株式会社が上半期から黒字化してグループの決算に貢献してくれたこともあり、全般に好調な結果を残すことができました。本年度は「サガ民芸」の



更なる飛躍の年とすべく融合を加速してまいります。

海外では、現在開催中のミラノ万博に日本フードサービス協会が組成した企業団の一員として参加しておりますが、日本館の中でもサガミは大盛況を続けております。

資本政策面では、本年度は4月2日に第三者割当による新株式発行を行い、今後の国内外の出店などに備えた増資を行いました。また、今年10月1日からは単元株式数を100株に引き下げ、個人投資家の拡大を図ってまいります。

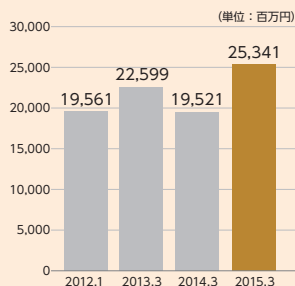
詳しい内容および決算内容につきましては、本誌に記載しておりますので、ご高覧戴ければ幸いです。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご愛顧、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

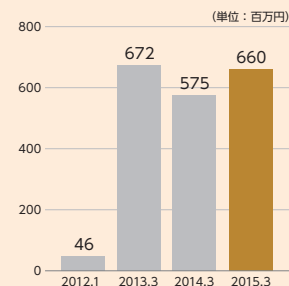
2015年6月

代表取締役社長 鎌田 敏行

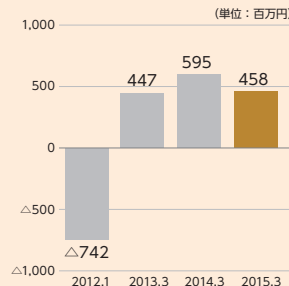
● 連結売上高



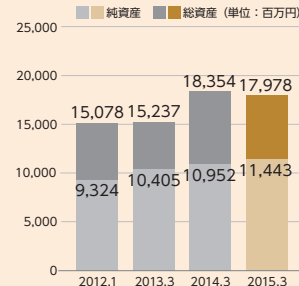
● 連結経常利益



● 連結当期純利益



● 連結純資産・連結総資産



(注) 前々期より決算期を1月20日から3月31日に変更しております。そのため、決算期変更の経過期間となる2013年3月期は14ヶ月11日間の変則決算となります。

「サガ民芸」の融合を加速し、グループ経営を推進

■当期の業績と取組み

Q. 業績は順調に上向いているようですが、当期の取組みと業績についてお聞かせください。

当社グループでは、当期より、味の民芸フードサービス株式会社を連結計上しております。グループ経営の効果を最大限に発揮するために「シナジー推進室」を新設し、統合を進めてまいりました。統合は幹部人材の相互派遣と食材の共有から始めましたが、メニューと物販商品の相互乗り入れや、夫々の自社工場製品の相互活用にも発展しました。原材料の共同購入や物流機能の統合によるコスト削減なども利益向上に貢献し、当社グループの当期実績は売上高25,341百万円、営業利益579百万円、経常利益660百万円、当期純利益458百万円となり、1百万円下回った営業利益を除いて、昨年5月策定の中期経営計画を上回る結果となりました。

国内事業では、ショッピングモールへの新業態の出店を進め、直近では3月に名古屋めしとして有名な「あんかけスパ」をメインとした「Dela PASTA Kitchen (デラパスタキッチン)」を岐阜県土岐市の土岐プレミアムアウトレット内のフードコートに出店しました。



■経営の改善・改革

Q. “No.1 Noodle Restaurant Company”の実現に向けての中期経営計画について、今後の取組みをお聞かせください。

今年度は、国内の基盤強化と海外展開加速の年と位置付けております。グループ管理本部を設置してグループ各社の管理部門を株式会社サガミサービスに一本化し、購買・製造物流部門を株式会社サガミフードに集約いたしました。また、小型業態でFC (フランチャイズ) を展開するために、本年4月には新会社として株式会社サガミマイスターズを設立しました。



出店に関しましては、国内では日本経済を牽引する首都圏と中部圏を中心に、海外では著しい経済発展をしており『和食』の人気の高いASEAN地域を重点地域として出店してまいります。ミラノ万博で大好評を頂戴していることから、欧州での出店も視野に入れて調査を始めます。

こうした守りと攻めをバランス良く進めるには人材育成が欠かせません。今回の営業部門・管理部門・製造物流部門のトップの異動で一つの部署に5年以上在職する幹部役職員がいなくなり、自身の能力開発にも資すると共に経験を他部署で活かす態勢が整いました。

また、東京証券取引所が策定したコーポレートガバナンス・コード（企業統治の指針）に就きましては、適任者がおられたので、社外取締役を1名増員して2名体制とする他、社外監査役も1名増員して3名体制とするべく株主総会に提案いたしました。

■海外成長戦略

Q. ASEAN諸国への出店や訪日客への取り組みをお聞かせください。

昨年4月にタイ王国・バンコクに開店した「SAGAMI Central Plaza Rama3店」をASEAN1号店とし、7月にはインドネシア・ジャカルタに「SAGAMIプラザスナヤン店」を出店いたしました。直近では3月26日にタイ・バンコク2号店となる「SAGAMI Central World店」を、そして5月30日にはジャカルタ2号店となる「SAGAMI イオンモールBSD CITY店」をオープンするなど汁麺文化圏であるASEAN諸国への出店を加速し、5年間で20店舗を出店する計画です。

当社グループは蕎麦のリーディングカンパニーとして海外における蕎麦の認知度向上に取り組んでおります。バンコクとジャカルタ夫々の2号店開店セレモニーで開催した、ざる蕎麦の大食い大会は現地紙やテレビに取り上げられました。

国内では、急速に伸びている訪日外国人の需要を取り込むべく、元々外国人のご利用が多い当社グループの14店舗が「外国人観光案内所認定制度」において日本政府観光局（JNTO）のパートナー認定を受けました。また、ノンポークメニュー、一汁三菜メニューなどの旅行会社専用のメニューを作成すると共に、HPでは海外



の方に向けて、「蕎麦」や「天ぷら」の食べ方の情報発信を行っております。ご来店戴いたお客様に心のこもったおもてなしをすることが、「和食」「蕎麦」更には、「サガミ」を世界に広めることに繋がるものと考えており、今後も丁寧な接客を心掛けてまいります。

■企業価値向上

Q. サガミグループのブランド化への取り組みについてお聞かせください。

当社は、5月1日から10月31日まで開催のミラノ国際博覧会に参加し、日本館のフードコートに出店しております。和食への関心が高まりを見せる中、ミラノ万博は万博史上初めてとなる、「食」をテーマとしたものだけに、「サガミ」「蕎麦」「名古屋めし」をアピールする絶好の機会だと考え、総力を挙げて取り組んでおります。社内公募で選ばれた社員やパートナー（パート）さんが一丸となり、パスタの本場で、天ぷら、蕎麦、天むすなどを提供しております。館内レストランではサガミが最も集客しており、そのメニューの中では蕎麦（温・冷）が一番人気となっております。余勢を駆って、欧州での展開の検討を始めました。

また、本年4月には日本唐揚協会主催の第6回からあげグランプリ手羽先部門で金賞に輝き、サガミの

手羽先は2年連続で金賞を受賞することとなりました。今後も手羽先の販売強化に取り組んでまいります。

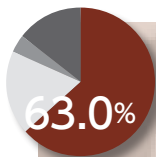
高齢化や共働き世帯の増加が進み、中食需要は年々増しておりますので、サガミグループでは、ご馳走をご自宅へという意味の宅配サービスブランド「ごちたく」も立ち上げました。

■株主の皆様へ

Q. 改めて株主の皆様へ今後に向けた決意をお聞かせください。

当社グループは、本年4月2日を払込期日とする第三者割当による新株式発行を行い、1,749,176,000円の資金調達を行いました。当社グループの継続的な成長を目指し、国内外の新規出店費用、既存店の業態変更などの設備投資に充当いたします。「サガ民芸」のシナジー効果を高めることとグループ経営を重要な経営課題とし、更に改革のスピードを上げてまいります。従業員全員で危機感を共有しながらグループビジョンである「No.1 Noodle Restaurant Company」を目指し、中期経営計画達成の為に鋭意努力してまいります。

部門別外食事業の状況

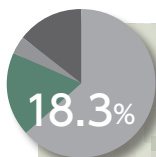
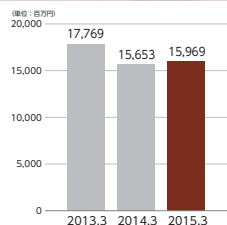


和食麺類部門

15,969百万円

和食麺類部門では、当社主力業態である和食麺処「サガミ」において、全店販売促進企画として「お客様大感謝祭」を3回、「料理フェア」を9回実施したほか、愛知県・三重県・岐阜県・静岡県・富山県・奈良県・滋賀県で「こだわりテレビCM」を7回放映いたしました。これにより既存売上高は前年同一期間に対して1.1%増となりました。なお、当期末での店舗数は128店舗となりました。

■対象店舗

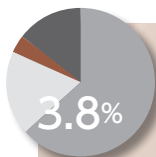
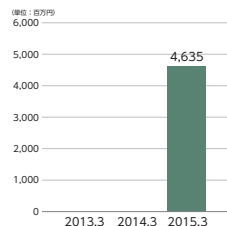


味の民芸部門

4,635百万円

味の民芸部門では、手延べうどん「味の民芸」において、全店販売促進企画として「料理フェア」を9回実施したほか、「スピードくじ企画」を12回実施いたしました。なお、当期末での店舗数はFC店舗を含み56店舗となりました。

■対象店舗

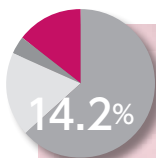
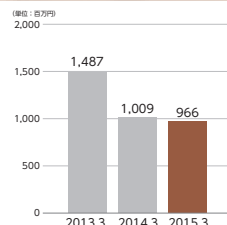


だんどん庵部門

966百万円

だんどん庵部門では、セルフサービス方式の「だんどん庵」において、「だんどん祭」を3回実施したほか、「料理フェア」を11回実施いたしました。店舗関係では、「だんどん庵苗代店」を「まるど食堂小幡店」に業態変更いたしました。なお、当期末での店舗数はFC店舗を含み40店舗となりました。

■対象店舗

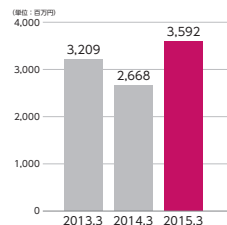


その他の部門

3,592百万円

その他の部門では、田楽食堂「あいそ家」において「お客様大感謝祭」を2回実施したほか、「料理フェア」を6回実施いたしました。また、大型セルフうどん店「製麺大学」においては、製麺大学祭を1回、「料理フェア」を10回実施いたしました。店舗関係では「Dela PASTA Kitchen土岐プレミアムアウトレット店」(3月)を出店いたしました。なお、当期末での店舗数はFC店舗を含み48店舗となりました。

■対象店舗



(注) 前々期より決算期を1月20日から3月31日に変更しております。そのため、決算期変更の経過期間となる2013年3月期は14ヶ月11日間の変則決算となります。

連結財務諸表 (要約)

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当期	前期
	2015年3月31日現在	2014年3月31日現在
資産の部		
流動資産	4,343	4,438
固定資産	13,635	13,916
有形固定資産	9,069	9,012
無形固定資産	1,055	1,155
投資その他の資産	3,511	3,748
資産合計	17,978	18,354
負債の部		
1 流動負債	3,988	4,568
固定負債	2,546	2,832
負債合計	6,535	7,401
純資産の部		
株主資本	11,155	10,800
資本金	6,303	6,303
資本剰余金	3,405	3,405
利益剰余金	1,458	1,097
自己株式	△11	△6
その他の包括利益累計額	287	143
少数株主持分	0	9
2 純資産合計	11,443	10,952
負債・純資産合計	17,978	18,354

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当期	前期
	2014年4月1日から 2015年3月31日まで	2013年4月1日から 2014年3月31日まで
3 売上高	25,341	19,521
売上原価	7,769	6,011
売上総利益	17,572	13,509
販売費及び一般管理費	16,992	12,980
営業利益	579	529
営業外収益	115	93
営業外費用	34	46
経常利益	660	575
特別利益	118	122
特別損失	245	165
税金等調整前当期純利益	532	532
法人税、住民税及び事業税	131	119
法人税等調整額	△54	△180
少数株主損益調整前当期純利益	455	593
少数株主損失 (△)	△2	△2
4 当期純利益	458	595

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当期	前期
	2014年4月1日から 2015年3月31日まで	2013年4月1日から 2014年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,155	1,188
投資活動によるキャッシュ・フロー	△276	△824
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,076	△164
現金及び現金同等物に係る換算差額	82	95
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△115	295
現金及び現金同等物の期首残高	3,413	3,118
現金及び現金同等物の期末残高	3,298	3,413

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

! 財務のポイント

- 1 流動負債**：流動負債は3,988百万円と前連結会計年度末に比べ580百万円の減少となりました。これは主に短期借入金の560百万円減少によるものです。
- 2 純資産**：純資産は11,443百万円と前連結会計年度末に比べ491百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金360百万円の増加によるものであります。

- 3 売上高**：売上高は25,341百万円と前連結会計年度末に比べ5,820百万円の増加となりました。これは主に味の民芸フードサービス株式会社を子会社化した影響によるものです。
- 4 当期純利益**：当期純利益は458百万円となりました。これは主に前期に計上した繰延税金資産の減少とのれん代の償却によるものです。

「第6回からあげグランプリ 手羽先部門 2年連続金賞」



サガミグループ一品料理部門で不動の一番人気商品である「自慢の手羽先」が、日本唐揚協会が主催する「第6回からあげグランプリ 手羽先部門」において、昨年度に引き続き金賞を受賞しました。手羽先はサガミグループ（一部業態を除く）の各店舗で販売しておりますので、ぜひご賞味くださいませ。

サガミグループ新型業態、「Dela PASTA Kitchen」がオープン ～あんかけスパとフレッシュサラダの Pastaプレート～

サガミグループは、3月31日土岐プレミアムアウトレット（岐阜県土岐市）のフードコート内に「Dela PASTA Kitchen」（デラパスタキッチン）をオープンいたしました。「Dela PASTA Kitchen」は、当社グループ会社が経営しておりますパスタ店「JIN JIN」の営業ノウハウと名古屋めしとして有名なあんかけスパを融合し、斬新なパスタ料理を提供しております。また、女性に人気のパスタとサラダ、デザートがセットになったサラダプレートメニューも種類豊富に取りそろえておりますので、ぜひご来店くださいませ。



第三者割当増資による新株式発行

当社は、平成27年3月16日に第三者割当増資を発表いたしました。具体的な内容としましては1,529千株の新株式発行をいたしました。その結果、アサヒビール株式会社、昭和産業株式会社、株式会社愛知銀行、ヤマモリ株式会社、旭川駅立売株式会社、金印物産株式会社を割当先として、1,749,176千円の資金を調達いたしました。第三者割当増資により調達いたしました資金は、当社グループの継続的な成長を確保するための新規出店費用、国内既存店の業態転換および改装ならびに老朽化設備の入替費用、「サガミ」と「味の民芸」両社のシステム統合のためのソフトウェアおよびIT投資も含む設備投資費用、更に当社グループのスケールメリットを活用するための、尾西工場のうどんライン改修に充当いたします。

(2015年3月31日現在)

■会社概要

商号	株式会社サガミチェーン
設立年月日	1970年(昭和45年)3月4日
資本金	6,303,521,149円
従業員数	597名
本社	名古屋市守山区森孝一丁目1709番地
店舗数	272店舗
グループ企業	味の民芸フードサービス株式会社 株式会社ディー・ディー・エー 株式会社サガミフード 株式会社サガミサービス サガミインターナショナル株式会社 HONG KONG SAGAMI CO.,LTD. SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD. BANGKOK SAGAMI CO.,LTD. NADEERA GLOBAL CO.,LTD.

■役員 (2015年6月25日)

代表取締役社長	鎌田 敏行
代表取締役専務	伊垣 政利
取締役	長谷川 喜昭
取締役	伊藤 修二
取締役	長屋 昇
取締役	千住 憲夫 (社外)
取締役	遠藤 良治 (社外)
常勤監査役	藤井 博規 (社外)
常勤監査役	神田 敏行
監査役	井口 浩治 (社外)
監査役	神谷 俊一 (社外)

(注) 1. 取締役 千住憲夫および遠藤良治の両氏は、「会社法」第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役 藤井博規氏、井口浩治氏、神谷俊一氏は、「会社法」第2条第16号および第335条第3項に定める社外監査役であります。

(注) 当社は、平成27年3月16日開催の取締役会において、第三者割当による新株式発行を行うことを決議し、平成27年4月2日に払込が完了しました。この結果、資本金は7,178,109千円、発行済株式総数は26,501,784株となっております。

■株式情報

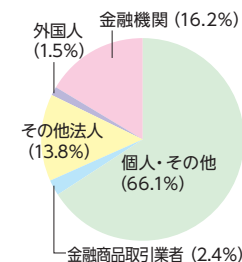
1. 発行可能株式総数 74,630,000株
2. 発行済株式総数 24,972,784株
3. 株主数 13,829名
4. 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
昭和産業株式会社	999	4.0
株式会社愛知銀行	749	3.0
北村昌夫	594	2.3
岩月康之	490	1.9
栗本美子	460	1.8
サガミ共栄会	457	1.8
株式会社昭和	433	1.7
メリルリンチ日本証券株式会社	412	1.6
第一生命保険株式会社	399	1.5
大嶋つき子	375	1.5

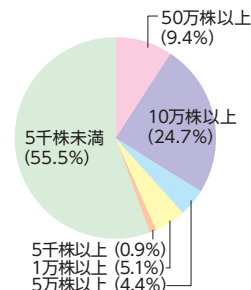
(注) 1. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。
2. 当社は、自己株式として12,629株を所有しております。

5. 株式分布状況

①所有者別分布



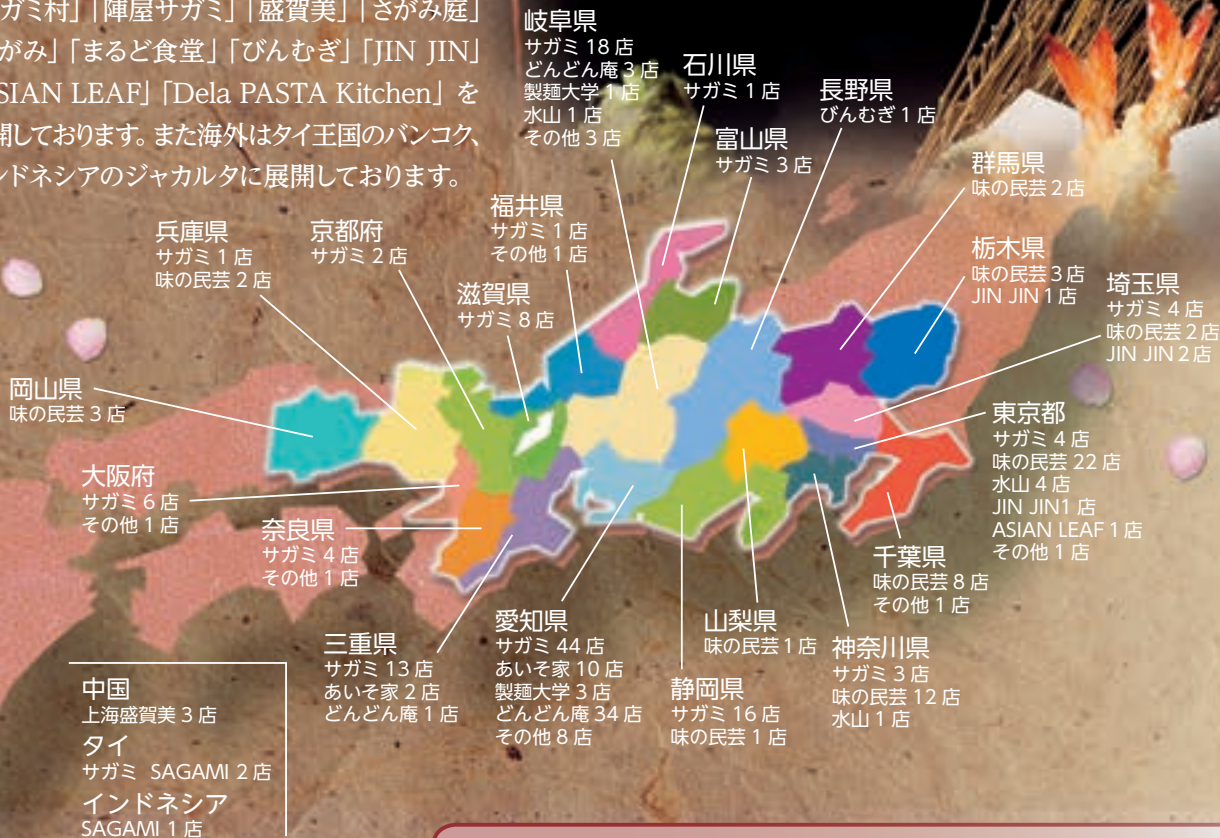
②所有株式数別分布



店舗ネットワーク

(2015年3月31日現在)

当社グループは、和食めん処「サガミ」「味の民芸」「あいそ家」「どんどん庵」「水山」「製麺大学」「サガミ村」「陣屋サガミ」「盛賀美」「さがみ庭」「さがみ」「まるど食堂」「びんむぎ」「JIN JIN」「ASIAN LEAF」「Dela PASTA Kitchen」を展開しております。また海外はタイ王国のバンコク、インドネシアのジャカルタに展開しております。



ミラノ国際博覧会 日本館に出店

2015年10月31日まで開催中のミラノ万博に参加し、日本館のフードコートに出店しています。グループビジョン「No.1 Noodle Restaurant Company」のもと、蕎麦を世界に広げるべく、積極的に取り組んでまいります。

合計272店舗

サガミ

128店舗



和食の原点とも言えるそば、うどんのおいしさを中心にして独自のチェーン展開を行ってきた「サガミ」。より気軽に、楽しく「和」のおいしさを味わって戴くため私たちが選んだのは、全店直営というスタイル。それは経営思想はもちろん、私たちが目指す最大限のおもてなしを、店舗運営の隅々にまで行き届かせるためのもの。もちろんそこに確立されているのは、店舗のデザインに始まり、接客スタイル、メニュー構成、営業時間にいたるまで、すべてはお客様の声に応え、より喜ばれるために築き上げてきた有形、無形の「サガミ」らしさの集積です。



味の民芸

56店舗



首都圏を中心に店舗展開しております。伝統の製法「手延べうどん」と和食の原点「手づくりだし」のおいしさを民芸の心あふれるくつろぎ空間でお楽しみ戴けます。

あいそ家

11店舗



カジュアルなお店がコンセプト。毎日でも来店して戴けるお店、家庭の食卓と同じ感覚で利用してもらえるお店・・・そんな身近なお店をイメージしています。

どんどん庵

40店舗



セルフ式の麺類店を展開中。メニューは「ぼうどん」「きしめん」「そば」「丼」を中心に「天ぷら」など。また、あんかけスパゲティの店舗も展開しております。

サガミ SAGAMI (タイ・バンコク)

2店舗



ASEAN1号店としてオープン。ASEAN諸国で知名度の高い北海道産のそば粉を使ったそばを前面に出し、日本のおもてなしを提供しております。3月にはCentral Worldに2号店をオープンいたしました。

■株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
定時株主総会	毎年6月下旬	上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部
配当金受領株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日	インターネットホームページ	http://www.sagami.co.jp/
基準日	定時株主総会関係 毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。		
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料) ○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。 電話 (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部) 0120-684-479 (大阪証券代行部) インターネットホームページ http://www.tr.mufig.jp/daikou/		

■復興特別所得税に関するご案内

上場株式等の配当等に係る所得税に対し、**2013年1月1日から2037年12月末まで**、復興特別所得税として**所得税額×2.1%**が追加課税されることになりました。

■株主優待のご案内

当社株式を1,000株以上保有されている株主の皆様方に、年間一律3万円分(消費税を含む)の株主優待食事券(1万5千円を年2回)を贈呈しています。これは、株主の皆様に、当社のこだわりの味を実際に味わっていただくことが目的です。1回の利用額に制限がなく、「サガミ」「味の民芸」「あいそ家」「どんだん庵」「水山」「製麺大学」「陣屋サガミ」「盛賀美」「さがみ庭」「サガミ村」「さがみ」「まるど食堂」「びんむぎ」「JIN JIN」「ASIAN LEAF」「Dela PASTA Kitchen」全店でご利用いただけます。



《 権利確定日：毎年3月31日、9月30日 》
《 発送予定：毎年6月下旬、12月中旬 》

■単元株式数変更のお知らせ

当社では、平成27年10月1日より単元株式数を1,000株から100株に変更いたします。

株式会社サガミチェーン

〒463-8535 名古屋市守山区森孝一丁目1709番地
電話 (052) 771-2126

